

飛躍

静岡県東部地域の活性化を考える

2012年度のあゆみ

CONTENTS

■ ごあいさつ	3
■ 2012年度のあゆみ	4
■ 特集 I 広域行政の推進支援	6
■ 特集 II ファルマバレープロジェクトの推進支援	8
■ 特集 III コンベンション機能の多角化促進	10
■ 特集 IV 富士山周辺の観光連携の促進	12
■ サンフロントから情報発信 ラジオEAST	16
新聞特集記事「風は東から」	17
■ 2013年度活動方針	18
■ サンフロント21懇話会会員名簿	20
■ 運営委員長挨拶	27

ごあいさつ



サンフロント21懇話会
代表幹事
スルガ銀行社長

岡野光喜

2012年度は自民党が政権政党に復帰しました。安倍政権の経済対策「アベノミクス」効果で円安・株高基調が続き、厳しい中にも少しは明るい兆しが見えてきました。

ただし領土やエネルギー、TPP(環太平洋連携協定)問題など多くの課題を抱えたままで、その対策は待たなしです。特に雇用と景気回復は最優先事項です。

もちろん、発生から2年がたった東日本大震災からの復興を忘れてはなりません。大津波による原発事故がきっかけとなったエネルギー問題は社会の仕組みを変える好機です。私たちは今、まさに時代の転機にいます。特に東京電力管内にある静岡県東部地域にとっては暮らしはもちろん、企業活動にかかわるだけに、強い関心を持ち続けたいと思います。

サンフロント21懇話会は2013年度で設立19年目を迎えました。昨年度、伊豆、東部、富士の各地区分科会で取り上げたジオパーク、ファルマバレープロジェクト、ニューツーリズムは観光や産業の在りようを見直す格好のテーマです。社会環境の変化に対応したパラダイム・シフトを常に意識していきたいと思っています。

そのためには柔軟な発想と行動力が欠かせません。本年度も会員皆様方のさらなるご支援、ご協力をお願いします。



静岡新聞社・静岡放送
会長

松井 純

2012年度の県東部は西武沼津店の撤退という衝撃的な出来事がありました。一方で、新東名が開通し、唯一海を望める駿河湾沼津サービスエリアは高い人気を誇っています。伊豆縦貫道や東駿河湾環状道路の整備も着々と進んでいます。県東部における基盤整備のネットワーク化は目を見張るものがあります。

伊豆半島が日本ジオパークの認定を受けたのも12年度でした。15年度の世界ジオパーク認定を目指して関係者が努力されています。県は新東名を活用し、防災と中山間地の振興を両立させる取り組みを目指しています。さらに本年度は、富士山の世界文化遺産登録が実現するという見通しもあります。それぞれに注目していきたいと思います。

富士山も伊豆半島も、県東部の人々には大変身近な存在です。まさに地域資源です。素材は十分です。県東部が、こうした資源を最大限に活用できれば、地域振興に大きな追い風となります。県東部は中、西部に比べ、最も将来性を秘めた地域と言えるでしょう。

そこにサンフロント21懇話会の提言団体としての存在意義があります。活動は本年度で19年目になります。これまでの会員皆様のご支援、ご協力に深く感謝するとともに、これからも一段の創意工夫と地域への熱い情熱を注がれますようお願いいたします。

静岡県知事
川勝 平太

「新東名開通1カ月
～内陸フロンティアの展望」



東北大学教授
竹上 嗣郎

「総合特区が担う日本の新成長戦略
～ファルマバレーに期待する」



2012年度 活動方針

- ◇ 広域行政の推進支援
- ◇ ファルマバレープロジェクトの推進支援
- ◇ コンベンション機能の多角化促進
- ◇ 富士山周辺の観光連携の促進

日本ジオパーク委員会委員長
尾池 和夫

「伊豆半島ジオパークに期待する」



映画監督
原田 真人

「映画『わが母の記』を語る」



◆ 2012年5月

活動記録「飛躍」発行

2011年度の活動内容をまとめた冊子「飛躍（A4判、28頁）」を発行した。総会、地区分科会の活動の足跡をはじめ、ファルマバレープロジェクトや広域連携の促進、各地区分科会などの活動を掲載。2012年度の活動方針も紹介した。

◆ 2012年5月29日 165人出席

総会

2012年度総会には会員の企業経営者や首長、県議165人が出席し、広域行政やファルマバレープロジェクトの推進支援、コンベンション機能や観光連携の促進を軸にした本年度の活動方針を決めた。川勝平太知事が記念講演した。

活動方針案を説明した井口賢明運営委員長は、都市間競争に勝つための広域的視点や富士山、伊豆半島の地域資源としての重要性を強調した。

和歌山大学准教授
大澤 健

「あるがままの魅力が
最高の観光資源」



NPO法人富士山クラブ事務局長
青木 直子

「カウントダウン
富士山世界文化遺産登録」



◆ 2012年7月24日 170人出席 東部地区分科会

東部地区分科会には、約170人が参加。一昨年12月に国の認定を受けた「ふじのくに先端医療総合特区」を軸にした地域振興について意見交換した。東北大学教授竹上嗣郎氏の基調講演に続き、「ものづくりで医療産業に進出！～ふじのくに先端医療総合特区を使いこなす」をテーマにパネル討論を行った。医療機器産業分野への進出を目指す企業が、支援体制としての特区を活用する意義などについて、パネリスト4氏が意見を交わした。

◆ 2012年11月20日 150人出席 伊豆地区分科会

伊東市で開催された伊豆地区分科会。官民の会員など約150人が参加し、日本ジオパークに認定された「伊豆半島ジオパーク」を生かした地域の振興や、世界ジオパーク認定に向けた取り組みについて考えた。基調講演では、元京都大学総長で日本ジオパーク委員会委員長の尾池和夫氏が「伊豆半島ジオパークに期待する」と題し、基調講演。パネル討論では関係者がジオパークをどのように伊豆の活性化に結び付けるかを議論した。

◆ 2012年12月10日 150人出席 全体会

沼津市内のホテルで開かれた全体会。ゲストを招いてのトークショーを行い、沼津市出身の映画監督原田真人氏が「映画『わが母の記』を語る」をテーマに作品に込めた思いやエピソードなどを紹介した。

また、全体会に先立つ運営委員会で、2013年度の活動方針について協議した。

◆ 2013年3月4日 140人出席 富士地区分科会

富士地区分科会は富士市内で開き、新しい観光の形態「ニューツーリズム」を通じた地域振興を探った。140人が参加した。和歌山大学准教授大澤健氏が「あるがままの魅力が最高の観光資源」と題して基調講演した。団体客を呼び込む従来型の観光が行き詰まっている状況や理由を説明し、「観光」を目的でなく地域づくりの手段として考えるべきだと訴えた。

◆ 2013年3月28日 合同会議

幹事・運営委員と県東部選出県議団・市長町長連絡会議との合同会議が、静岡新聞社・静岡放送東部総局ビル「サンフロント」で開かれた。井口賢明運営委員長が、新年度の活動方針案として「ものづくり産業とファルマバレープロジェクトの連携支援」「県東部地域再生に向けた都市づくり支援」「新たな観光交流戦略の促進支援」を示し、趣旨とともに取り組みの内容を説明した。



静岡経済同友会東部協議会など地域経済団体が中心となって、県東部10市町エリアの成長戦略を描く「東部地域グランドデザイン（※1）」の策定を目指す支援会が2011年6月に発足しました。懇話会メンバーも原案を作る作業部会などに参加しました。



■東部の将来像について討論したシンポジウム

東部グランドデザインを策定

約2年の協議を経た提言書のタイトルは「富士・箱根・伊豆パワーアップトライアングル 人々と企業が共に誇りを持って成長し合える自立型地域経済圏」。今後10年間で、10市町を一つにした「広域圏域」を形成します。将来像には、▽安心・安全で快適に生活し得る地域▽製品開発や市場開拓などの挑戦が喚起される活力に満ちた地域▽創造性あふれる地域—など5項目が盛り込まれました。

2013年3月19日にはファルマバレーセンター所長ら策定委員会委員による「地域の強みを生かした再生へのシナリオ」をテーマにしたシンポジウムも開かれ、10市町から首長をはじめ商工、行政関係者ら約350人が出席しました。

※1.東部地域グランドデザインの対象地域は沼津、三島、裾野、御殿場、伊豆、伊豆の国、小山、長泉、清水、函南の6市4町。策定作業は、同協議会とサンプロント21懇話会、対象地域の商工会議所、商工会、青年会議所が策定支援会を組織した。

13年度を初年度とし、策定組織を母体に、農業、漁業、観光など他業種の参加を得ながら策定項目の具現化を図っていきます。

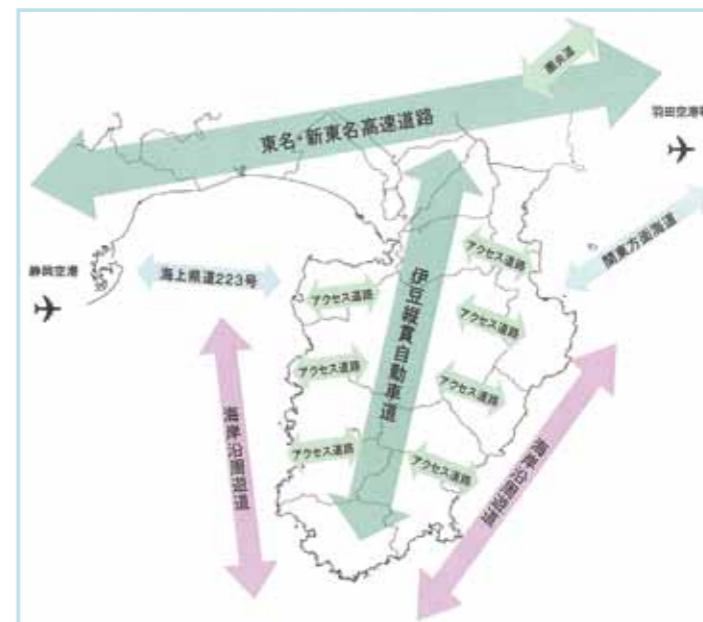


伊豆半島のグランドデザイン

東部地域に続き、伊豆半島でもグランドデザイン策定の動きが出ています。伊豆半島6市6町首長会議（※2）は、活性化を目的とした同デザインの素案を3月に策定。「世界から賞賛され続ける美しい半島」を基本理念に、交流産業クラスターの創出、交通・都市基盤の整備、減災対策の推進などの戦略を打ち出しています。

素案では、中長期的に計画を進める「（仮称）美しい伊豆創造センター」の組織化が急務となっています。関係市町に観光交流団体、ジオパーク推進協議会などを加えた組織の再編と、人材の確保、資金の確保をどう進めるか、難しい舵取りが待っています。

※2.伊豆・熱海・三島・伊東・下田・伊豆の国市、東伊豆・河津・南伊豆・松崎・西伊豆・函南町



■伊豆の地域構造分析

東部の発展と懇話会の役割

2012年6月の「風は東から」では、懇話会アドバイザー3氏をお迎えし、今後の東部の将来像と懇話会が担う役割について聞きました。（聞き手は静岡新聞社の原和也取締役東部総局長）

○懇話会アドバイザー

大坪檀静岡産業大学総合研究所所長
坂本光司法政大学大学院教授
土居弘幸岡山大学大学院教授

○発言要旨

大坪所長：未来は描くものです。こんな東部にしたいという絵を皆さんで描いてほしい。そのためには効率的な行政が必要で、日本にない連携都市の仕組みを新しく考えるべきでしょう。

坂本教授：ぜひ懇話会には接着剤の役割を果たしてほしい。例えば、各種の団体が行っている同じような行事の取りまとめや、伊豆の先端の人と裾野の企業とのマッチングをするようなイメージです。

土居教授：よく「官民一体」と言いますが、広域で連携する場合、官の役割は大きい。しかし、民間の自由な経営手法を生かさない手はありません。両者の長所を生かした「新しい公共」にもチャレンジしてほしいと思います。



■大坪 檀氏

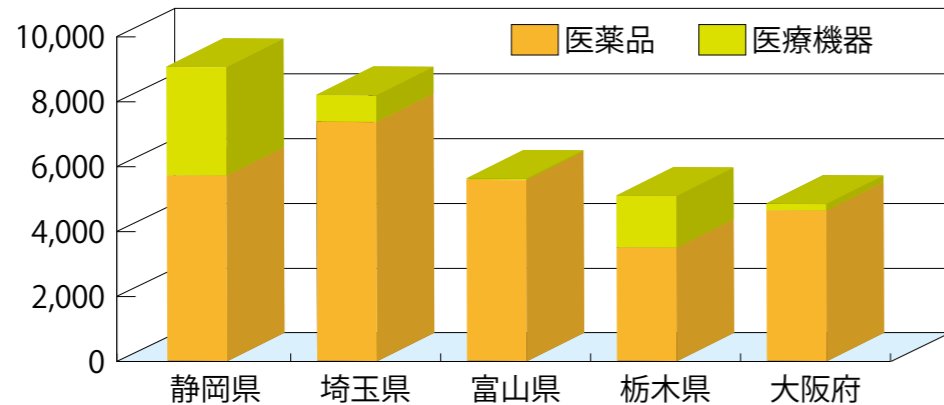


■坂本光司氏



■土居弘幸氏

厚生労働省の2011年薬事工業生産動態統計年報で、静岡県の医療機器生産額が3年連続全国1位になりました。特筆すべきは医療機器生産額。2006年の1620億円が、5年後の11年には3449億円と、倍増しました。



先端医療軸に地域振興

東部地区分科会 2012.07.24

テーマ 「ふじのくに先端医療総合特区」を軸にした地域振興

○ 要旨

がんの超早期診断技術の確立と医療機器開発の仕組みづくりを柱にした「ふじのくに先端医療総合特区」は、ファルマバレープロジェクトの10年来的取り組みが評価され、2011年12月に国の認定を受けました。東部地区分科会では、中山勝企業

経営研究所常務理事の進行で、医療機器産業分野への進出を目指す企業が、支援体制としての特区を活用する意義などについて、パネリスト4氏が意見を交わしました。

○ パネリスト

- 山口建県立静岡がんセンター総長
- 日吉晴久テクノサイエンス社長
- 植田勝智ファルマバレーセンター所長
- 竹上嗣郎東北大学教授

○ コーディネーター

- 中山勝企業経営研究所常務理事 (サンフロント21懇話会シンクタンクTESS研究員)



○ パネルディスカッション要旨

山口総長: 特区はファルマバレープロジェクトの強い追い風。5年間の指定期間に、地域の仕組みをしっかりと作ることが鍵。

日吉社長: 医療産業への参画に向け、がむしゃらに首をつっこみ情報収集することが必要。

植田所長: 静岡以東の企業は浜松に比べアピールが弱い。積極的なPRに努めてほしい。

竹上教授: 最寄りの自治体や国の支援を積極的に活用し、スピード感を持って臨むべき。

長泉高校が新たな拠点に

県は2013年度、「ファルマバレープロジェクト機能強化事業」として、医療関係の研究や人材育成のための拠点施設の整備計画を策定します。場所は08年に閉校した県立長泉高校の跡地施設を活用。外部の委員会方式で、必要な機能や運営の方針、施設の整備仕様などを13年度中にまとめます。

旧長泉高校跡地は、プロジェクト中核推進機関である静岡がんセンターに隣接し、新東名、東名、東駿河湾環状道路のインターが近い上に、沼津高専や国立遺伝学研究所などの関係機関との連携にも最適な場所。

新拠点では、ファルマバレーセンターのプロジェクト支援のための体制を強化するほか、静岡がんセンターや連携大学などの研究成果を活用した画期的な医



■イメージバース

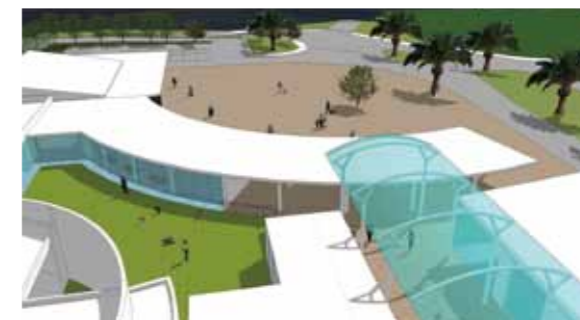
薬品や、外科手術を支援する医療ロボットなどを開発する「研究機能」、地域企業の優れた製品や技術を紹介する常設展示場などの「地域企業の成長を支援する機能」、高度な医療人材や産業人材を育成する「人材育成機能」、関係者と自由に交流できる「交流連携機能」などが盛り込まれる予定です。

伊豆に「人と動物の共生・未来センター」

新たなまちづくりのテーマとして注目されているのが「(仮称)人と動物の共生・未来センター」。人間の飼育放棄などで保護、処分されるペットが全国で20数万匹に上る中、「殺処分ゼロ」の社会の推進を目指し、公益財団法人動物臨床医学研究所(理事長・山根義久日本獣医師会会長)が伊豆に計画しています。

飼えなくなった犬や猫の保護、引き取り、診療、獣医師と動物看護師の教育、飼い主への啓発活動などの事業を総合的に展開する、国内では初めての拠点施設です。運用開始は2015年度中を予定。

サンフロント21懇話会は11年6月に、ファルマバレープロジェクト推進支援の一環として、同センターの計画推進を川勝平太知事に提言しています。



■イメージバース

県と沼津市がJR沼津駅北口に建設する県東部コンベンションセンターは2014年夏の全面開業に向け、整備が本格化しています。経済効果以外に、都市のイメージアップ、ホスピタリティの醸成など社会的にも波及効果が大きいとされています。



■プラサヴェルデ外観

指定管理者が決定

県東部コンベンションセンターの愛称は「プラサヴェルデ」に決まりました。会議場（メイン会議室収容人数約1300人）、展示イベント施設（約3900平方メートル）、ホテル（11階建て、150室）を備えています。沼津の景観を代表する「千本松原」をコンセプトとして、グリーン環境をつくり出します。また、建物の緑化や県

産木材を積極的に活用。温かみのある内装で、お客さまをもてなします。国内でも数少ない、複合型のコンベンションセンターであり、北に富士山、南に駿河湾を望む本県を代表する施設として来年グランドオープンを迎えます。



■多目的ホール



■市民ギャラリー

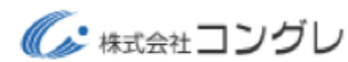


■エントランスギャラリー

○指定管理者： **コングレ・コンベンション静岡グループ**

コンベンション業界No.1の「株式会社コングレ」と地元唯一の運営組織「NPO法人コンベンション静岡」がコンソーシアムを組成し、スムーズな施設運営に当たります。

◇団体の概要



■代表団体： **株式会社コングレ**

<http://www.congre.co.jp/>

コンベンションの企画・運営を専門とする企業（PCO）。1990年設立。本社：大阪。施設管理運営業務実績：名古屋国際会議場、長良川国際会議場。国際会議・学術会議・シンポジウムの企画、運営業務実績：2012年IMF・世界銀行年次総会、2008年北海道洞爺湖サミット 等



■構成団体： **特定非営利活動法人コンベンション静岡**

<http://convention-shizuoka.org/>

2009年に沼津市に設立。10年に第24回日本がん看護学会学術集会（主催：日本がん看護学会）を運営するなど、学会・研究会やシンポジウムの誘致、開催支援をする業務を行っている。

一足先にキラメッセぬまづが6月29日オープン

2014年夏の全面開業に先がけ13年6月29日、展示イベント施設「キラメッセぬまづ」がオープンします。旧キラメッセぬまづで培われた「日本一やさしい施設」の理念を踏襲し、さらなる交流人口拡大の起爆剤として期待されています。

駅前に隣接する抜群の立地を生かし、予約は好調に推移。オープンから14年3月までの予約率は84.8%（3月末）に達し、目標の70%を大きく超えることができました。

14年7月には、フラワーデザインの技術を競う世界最大級の国際大会「アジアカップ2014」が開催されることが決まりました。この大会はアジア太平洋地域を中心とした各国予選を勝ち抜いた、花の装飾の競技者が展示やステージ競技などで技を競うもの。花を

テーマにした多様なイベントも行われ、総合的な花の祭典として知られています。前回大会（台湾）は約20万人の来場者を集めました。



■アジアカップ開催イメージ

道路網整備でコンベンションに弾み

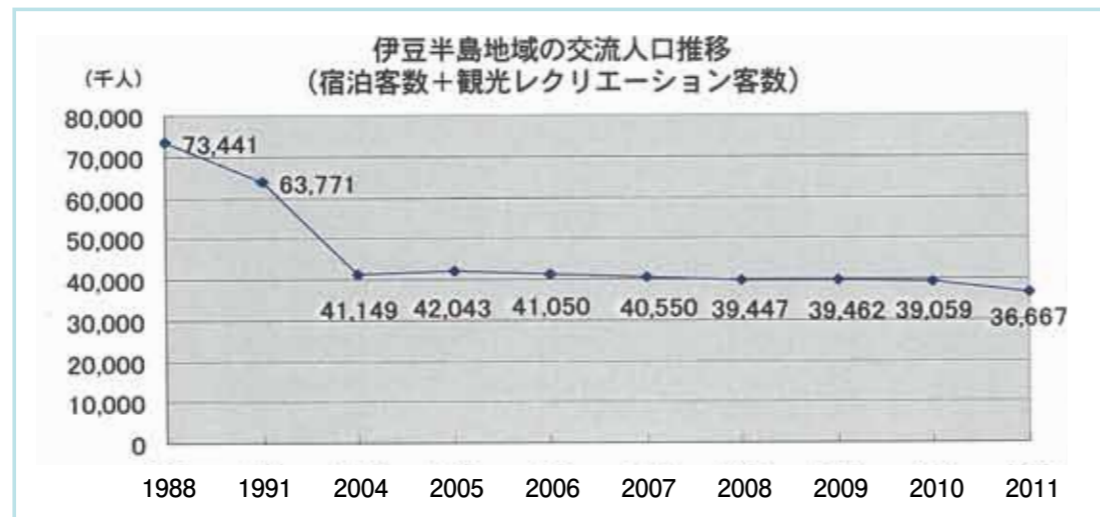
利便性の高さがコンベンション開催の大きな決め手。2012年4月14日に開通した新東名は渋滞が約9割、人身事故件数も約3割減少と目に見える効果を上げています。サービスエリア、パーキングエリアは13カ所つくり、1か月で593万人、3か月で1300万人、半年で2400万人が訪れ、新たな観光名所になっています。

さらに、伊豆縦貫自動車道の一部である東駿河湾環状道路が今夏、函南町塚本まで開通することで、アフターコンベンションも含め、人、モノがグローバルに行き交う交流の時代が始まります。



■新東名長泉沼津インター周辺

下の表は伊豆半島の交流人口数の推移です。1988年をピークに、2011年には約5割減少。また、その状況にまったく歯止めがかかりません。ここから抜け出すには何が必要なのか、今新たな切り口と手法での観光活性化が伊豆各地で始まっています。



(静岡県観光交流の動向より作成)

伊豆半島ジオパークが日本ジオパークに

伊豆地区分科会 2012.11.20

テーマ 「ジオパークで伊豆の経済を活性化」

○ パネルディスカッション要旨

2012年9月に日本ジオパークに認定された「伊豆半島ジオパーク」。南から来た火山の贈り物をキャッチフレーズに、ジオサイトの整備やガイド養成に力を入れています。

懇話会は伊豆地区分科会を伊豆半島ジオパークをテーマに開催。ジオパークを活用した観光活性化についてディスカッションを行いました。

○ パネリスト

今井ひろこ 兵庫県香美町ジオパーク推進員

永瀬巖 伊豆急行社長
日吉直人 とう漁協代表理事専務
鈴木雄介 伊豆半島ジオパーク推進協議会専任研究員

○ コーディネーター

青山茂 シード副社長 (サンフロント21懇話会シンクタンク TESS研究員)



■今井氏



■永瀬氏



■日吉氏



■鈴木氏



■青山氏



■熱心に聞き入る会場

川端康成「伊豆序説」

伊豆は詩の国であると、世の人はいう。
伊豆は日本歴史の縮図であると、ある歴史家はいう。
伊豆は南国の模型であると、そこで私はつけ加えていう。
伊豆は海山のあらゆる風景の画廊であるとまたいうことも出来る。
伊豆半島全体が一つの大きい公園である。一つの大きい遊歩道である。
つまり、伊豆は半島のいたるところに自然の恵みがあり、美しさの変化がある。



◆ ジオサイト

熱海エリア(5)、函南エリア(8)、沼津・三島エリア(9)、伊東エリア(15)
中伊豆北エリア(14)、中伊豆南エリア(10)、大瀬崎・戸田エリア(5)
河津・東伊豆エリア(16)、下田エリア(6)、南伊豆エリア(8)、西伊豆エリア(14)

◆ ビジターセンター

伊豆半島のジオサイトを紹介する拠点、ビジターセンター。最南端に位置する石廊崎に南伊豆町ジオパークビジターセンターがオープンしました。ジオサイトの紹介パネルや、各種おみやげの販売、「夕陽のカフェ」も併設しています。

◆ ジオガシ

住む人が主体となって大地の恵みを学び、楽しみ、知らせ、シェアするというジオパークの考え方を、お菓子を通して実践。お菓子のモチーフに伊豆半島各地のジオサイトを取り入れ、シリーズ化しています。



■ビジターセンター



■ジオガシ

ニューツーリズムの実践

富士地区分科会 2013.03.04

テーマ 「地域資源を活用したニューツーリズム」

○ パネルディスカッション要旨

団体客を呼び込む従来型の観光は過去のものとなりつつあります。今、観光を地域づくりの手段として考え、地域資源を活用して体験や共感を織り込みながら展開する「ニューツーリズム」が全国的に盛んになっています。

的に盛んになっています。

富士地区分科会では、実際にニューツーリズムに取り組むパネリスト3人を招き、今後のヒントとしました。

○ パネリスト

大澤健和 歌山大学准教授(基調講演者)
富士山観光交流ビューロー 福本公美氏
富士山登山学校ごうりき代表 近藤光一氏
藤枝市観光協会 渡村マイ氏

○ コーディネーター

大石 静岡経済研究所理事 (サンフロント21懇話会シンクタンク TESS研究員)



■地域の魅力の再発見が議論された

富士山の世界文化遺産登録で、懇話会の活動方針の一つ「富士山周辺の観光連携の促進」が大きく前進することが期待されています。同じく、伊豆の国市の韮山反射炉が日本の近代化を支えた「九州・山口の近代化産業遺産群」の構成資産候補になりました。



富士山世界文化遺産登録

6月にも一と期待が高まる富士山の世界文化遺産登録。静岡・山梨両県では地元から機運を盛り上げようとさまざまな活動を行っています。「風は東から」で

岡野社長発言要旨：世界文化遺産になることは、顕著な普遍的価値があることが世界的に認められることであり、われわれがそれを後世に守り伝える義務を負うことを意味します。今、年間33～40万人が富士



■岡野社長

山に登ります。私見ですが、世界文化遺産登録を機に富士山の環境、生態系を維持するための入山制限は必要でしょうし、入山料も検討していかなければなりません。

は、懇話会の岡野光喜代表幹事（スルガ銀行社長）と堀内光一郎富士急行社長に、登録の意義や地域活性化の方法について聞きました。

堀内社長発言要旨：一番大事なのは「富士山は世界の共有財産である」という意識だと思います。特に地元の方は、今までありのままに見てきた富士山の、さまざまな価値をさまざまな方向から再認識できた。加えて新たな価値も発見できたと思います。

その価値をきちんと理解した上で、言ってみれば「格の高い」方法で国内外の方をお迎えする。その意識があるかないかであって、決してハード面だけの問題ではないと思います。

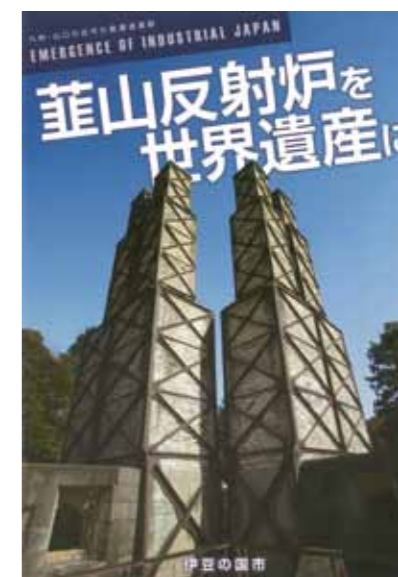


■堀内社長

日本の産業革命を生み出した遺産

「九州・山口の近代化産業遺産群」は、19世紀末～20世紀初頭の短期間に日本の近代化を支えた「鉄・石炭・造船」に関わる産業遺産群のこと。鹿児島市の旧集成館、佐賀市の三重津海軍所跡、北九州市の八幡製鉄所など、九州および山口県を中心に全国8エリア・28資産で構成され、2015年の登録を目指しています。韮山反射炉は、日本の製鉄技術導入の黎明期を象徴する建造物として構成資産に加えられました。

反射炉がある伊豆の国市は、世界遺産登録に向け周辺整備を含む景観条例の策定を急いでいます。また、反射炉建造を幕府に進言した韮山代官江川太郎左衛門英龍（1801-55年）の先見性、行動力、また、国を守るという強い信念などもきちんと掘り下げ、整理する予定です。



■伊豆の国市が作ったパンフレット

地域資源豊富な東部・伊豆

■県道223（ふじさん）号線が認定



清水港と土肥港を結ぶ航路が県道223（ふじさん）号の認定を受けました。今年夏には東駿河湾環状道路が全線開通し、新東名と伊豆中央道も直結します。これにより伊豆半島、富士山周辺がより一体的になることが見込まれます。

■サイクルツーリズムで協議会立ち上げ



健康志向の高まりや環境にやさしいスポーツとして、サイクリング人口は増加傾向にあります。静岡遠州観光ネットワーク（※）と伊豆市・伊豆の国市・函南町の各観光協会が発起人となって全国でも珍しい「静岡県サイクルツーリズム協議会」を設立しました。

※静岡遠州観光ネットワーク…磐田市、袋井市、掛川市、菊川市、御前崎市、森町の5市1町の観光協会で設立

■願成就院の仏像が国宝に



国の文化審議会は、2013年2月に開催された同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、文部科学大臣に対して、国宝・重要文化財等の指定について答申を行いました。願成就院にある運慶作諸仏が国宝に指定されれば、『彫刻』では中部地方初の国宝指定になります。

ラジオ EAST

<http://www.at-s.com/sbsradio/program/east/>

SBS ラジオ 毎週土曜日
11:00 ~ 12:55

サンフロント21懇話会が母体となり、東部・伊豆の地域情報を2時間にわたりお届けする「Radio*East」。清水町の大型ショッピングセンター、サントムーン柿田川内に開設されたサテライトスタジオ「LISPA」は東部・伊豆の情報発

信、文化創造拠点としてにぎわいを見せています。

番組恒例の公開放送は全部で5回。各地のイベントや魅力スポット、地元でしか食べられないご当地グルメ情報などをお送りしています。



■ ラジオ EAST ホームページ

ホームページでは、番組で取り上げた話題を写真とテキストで紹介しています。「EAST食べちゃうぞ!」や「温泉へ行こう!」など、各コーナーはバックナンバーも充実。東部・伊豆にお出かけの際はぜひご利用下さい。

URL <http://www.at-s.com/sbsradio/program/east/>



新聞特集記事「風は東から」

<http://www.sunfront21.org/>

静岡新聞東部版・朝刊
毎月 第4日曜日掲載

東部地域の活性化に向けたさまざまな取り組みや、サンフロント21懇話会の活動の一端を毎月1回、新聞紙上で紹介する「風は東から」。

連載15年目を迎え、昨年は日本ジオパークへの認定が決まった「伊豆半島ジオパーク」や伊豆の景観を楽しむサイクルツーリズムなどを取り上げました。また、ファルマバレープロジェクトや環富士山の観光振興など、東部のポテンシャルをどのように生かすかを考えました。



■ サンフロント 21 懇話会 ホームページ

サンフロント21懇話会活動がひと目で分かるホームページ。懇話会の設立趣旨・沿革をはじめ、新聞「風は東から」のバックナンバーや、1年間の活動をまとめた冊子「飛躍」などが閲覧できます。

URL <http://www.sunfront21.org/>



■ ものづくり産業とファルマバレープロジェクトの連携支援

県が10年計画でスタートさせたファルマバレープロジェクトの第3次戦略計画が本年度で3年目を迎えた。健康産業の振興・集積に向けた支援を本年度も継続する。ものづくり（医療健康産業を中心とした産業構造への転換）、まちづくり（健康サービスの充実で高次都市機能を集積し、快適で魅力ある都市圏の形成）などを目指し、地元中小企業に技術力の結集を促す。国の新成長戦略実現のために地域限定で規制緩和や税制、金融上の支援などが行われる「ふじのくに先端医療総合特区」制度を活用し、地域産業の活性化につなげる。ファルマバレープロジェクトの一環として一昨年、県に提言した人と動物の共生拠点「（仮称）人と動物の共生・未来センター構想」の実現に向け、交流人口の拡大や新産業創出の観点から支援を継続する。



■ 県東部地域再生に向けた都市づくり支援

社会環境の変化は都市のあり方を大きく変えつつある。三島市では健康と福祉を機軸にしたまちづくりを目指す「スマートウェルネスみしま」や花と緑を都市に取り込んだ「ガーデンシティみしま」がまちづくりの両輪として推進されている。また、県と沼津市が沼津駅北口で建設中の県東部コンベンションセンターは今年6月に展示イベント施設がオープン、来年度には会議場とホテルが開業し、MICE産業による県外からの消費を呼び込むべく本格稼働する。

三島・沼津いずれの計画も都市としての拠点性を強化し、地域を活性化させることを目的とするものであり、その成否は東部全域に影響する。それぞれの動向に着目しつつ、東部地域の再生、さらには広域連携につながる支援を行なう。



MICE:
Meeting(会議、研修、セミナー)、Incentive(招待、視察)、Convention(国際会議、大会、学会)、Exhibition(展示会)など
コンベンション事業の総称

■ 新たな観光交流戦略の促進支援

富士山の世界文化遺産登録が本年度、実現するとされている。昨年9月、日本ジオパーク（貴重な地形や地質を楽しめる「大地の公園」）に認定された

伊豆半島が、2年後の2015年度に世界ジオパークに認定されるとの見通しもある。県東部地域に世界が認める価値が、この数年間で相次ぎ誕生することと



なり、国内はもちろん、世界中から外国人観光客の増大が見込め、交流人口の拡大が期待できる。富士山と伊豆半島という身近な地域資源を戦略的にとらえるビジョンの構築と、その実践を担う新たな仕組みづくりに向けた機運を醸成し、意識を喚起する。同時に昨年開通した新東名や建設が進む東駿河湾環状道路などの交通ネットワークを、さらなる観光交流戦略の促進につなげる必要性を訴える。

会員名簿

氏名	会社名	役職	氏名	会社名	役職
相川 正宏	(株)クリエイト	代表取締役	植松 眞	(株)トーヨーアサノ	代表取締役
青山 茂	(株)シード	取締役副社長	鶴澤 精一	熱海商工会議所	会頭
秋山 佳彦	(株)秋山機器	代表取締役社長	臼井 良太	白幸産業(株)	代表取締役
秋元 久則	(有)静岡ビジネスサポート	代表取締役	宇田川 茂	(株)伊豆フェルメンテ	代表取締役社長
秋山 勇雄	静岡新聞社	常務取締役	内田 豪	(株)ダイナナ	代表取締役社長
赤堀 肇紀	赤武エンジニアリング(株)	代表取締役社長	内山 義郎	スルガ銀行(株)	常務取締役
浅羽 愛子	あさば旅館涵翠閣	代表取締役	宇野 統彦	(株)桃中軒	代表取締役会長
芦川 均	スルガコンピューターサービス(株)	代表取締役社長	内野 敬太	大岡建設工業(株)	代表取締役
芦川 勝年	沼津市商店街連盟	会長	梅本 和熙	南伊豆町	町長
足立 吉松	足立会計事務所	所長	海野 和雄	静岡ガス(株)東部支社	常務執行役員東部支社長
綾部 恵市	(株)綾市商店	代表取締役社長	遠藤 敏東	富士商工会議所	会頭
飯田 悦郎	飯田工業薬品(株)	代表取締役	遠藤 忠男	(有)遠藤新聞舗	代表取締役
伊海 剛志	(株)イカイ	代表取締役社長	遠藤 茂美	日本ガス興業(株)	代表取締役社長
井口 賢明	あさひ総合法律事務所	所長	遠藤日出夫	長泉町	町長
池田 誠	池田病院	院長	大浦 孝雄	愛車の救急車(有)	代表
石井 誠	(株)石井組	取締役副社長	大野 数芳	(株)大野商店	代表取締役
石井 良雄	東海自動車(株)	取締役社長	大木 康雄	(株)関電工静岡支店	支店長
石井 大介	(株)富陽軒	代表取締役	大儀 健一	国土交通省中部地方整備局沼津河川国道事務所	事務所長
石川雄一郎	石川建材工業(株)	代表取締役社長	大橋 俊二	裾野市	市長
石川 三義	社会福祉法人春風会	理事長	大村 義政	沼津埠頭(株)	代表取締役
石川 眞	(株)丸石製作所	代表取締役	大村 保二	沼津市商工会	会長
石川 征雄	(株)ミツイシ	代表取締役	太田 長八	東伊豆町	町長
石間 尚雄	(株)TOKAIケーブルネットワーク	常務取締役	大坪 檀	静岡産業大学	総合研究所所長
石戸 安伸	静岡県東部農林事務所	所長	大石 人士	(一財)静岡経済研究所	理事
石山 隆治	静岡新聞社	常務取締役	大石 剛	静岡新聞社	代表取締役社長
板倉 正	Knt!近畿日本ツーリスト(株)沼津支店	支店長	大塩 秀樹	黄瀬川自動車学校	代表取締役社長
伊丹 秀之	(有)松韻	取締役社長	大嶽 正泰	(宗)三明寺	代表役員
伊東 哲夫	伊東法律事務所	所長	太田 克彦	(株)プレーン	取締役社長室長
伊藤 澄男	(有)澄企画	代表取締役	大須賀紳晃	静岡新聞社	編集局長
伊藤 高義	富士川まちづくり(株)	代表取締役社長	小笠原久幸	日本電気(株)沼津支店	支店長
稲葉 常宏	スルガ総合保険(株)	代表取締役社長	小笠原一夫	宇徳通運(株)	代表取締役社長
稲葉やす子	静岡県総合健康センター	技監	岡野 光喜	スルガ銀行(株)	代表取締役社長
稲田 精治	三島信用金庫	理事長	荻田 勝雄	富士急シティバス(株)	相談役
乾 朋義	(株)大村総業	代表取締役社長	奥田 一	(株)静岡中央銀行	取締役社長
岩田 均	SBS マイホームセンター(株)	代表取締役社長	刑部 治	(有)啓伸社刑部新聞店	代表取締役
植草慎一郎	(株)康報社植草新聞店	代表取締役社長	小川 満	静岡放送	報道局長
植田 康大	静岡県富士財務事務所	所長	小滝 勝昭	富士信用金庫	理事長
植田 勝智	(公財)静岡県産業振興財団ファルマバレーセンター	所長	音羽 徹	日本製紙(株)富士工場	執行役員 富士工場長
上野 充史	(株)エム・エス・エス	総務・経理部長	小野 徹	小野建設(株)	代表取締役

氏名	会社名	役職	氏名	会社名	役職
小野登志子	伊豆の国市	市長	小島一彦	(株)オトワコーエイ	代表取締役
小原 佳裕	小原自動車工業(株)	代表取締役	小島し乃ぶ	三友水処理(株)	代表取締役
貝原 敏哉	貝原司法書士事務所	代表者	小滝すみ子	(株)三喜	代表取締役
影山 桓義	(株)影山運輸	代表取締役	後藤 全弘	(株)ゴトー	相談役
影山 山弘	(株)黎明社	専務取締役	後藤 信昭	沼津市立病院	病院長
梶 充伸	静岡県東部健康福祉センター	所長	後藤 行宏	(株)ゴトー	代表取締役会長
片山 劫	伊豆総合産業(株)	代表取締役社長	小林 省吾	(株)小林製作所	代表取締役会長
片淵 典利	(株)港	代表取締役	込山 正秀	小山町	町長
勝又 規雄	ライオンファイル(株)	代表取締役社長	近藤 安徹	近藤鋼材(株)	代表取締役会長
勝又 敏雄	(株)カジマヤ	代表取締役社長	近藤 良夫	近藤良夫会計事務所	所長
勝又 安彦	(株)勝又新聞店	代表取締役	齋 秀	(株)東海建設コンサルタント	代表取締役
勝又 寛治	(株)沼広	代表取締役	齊藤 大	伊東ガス(株)	代表取締役社長
勝間田久嗣	二葉建設(株)	代表取締役社長	齋藤 稔	(株)齊藤組	代表取締役社長
桂 英治	静岡放送	代表取締役社長	齋藤 哲一	三幸興業(株)	代表取締役社長
加藤瑠美子	(学)加藤学園	副理事長	齊藤 弘幸	(株)東海ソフトウェア	代表取締役社長
加藤 修一	(株)加藤工務店	代表取締役	齋藤 研一	沼津リバーサイドホテル	総支配人
加藤 和彦	(株)コーゲツ	代表取締役	齊藤 親洋	(有)オーシャンフーズ	代表取締役
加藤 昌利	(株)ホテル銀水荘	代表取締役社長	齊藤 栄	熱海市	市長
加藤 博彦	(株)メディアクリエイト	代表取締役	齊藤 文彦	松崎町	町長
鎌形 秀昭	(株)静岡伊勢丹	代表取締役社長	七種 精一	シードテクノ(株)	代表取締役
神尾 啓治	マックスバリュ東海(株)	代表取締役社長	佐伯 隆彰	(有)佐伯新聞店	代表取締役
神谷 眞好	静岡県工業技術研究所富士工業技術支援センター	センター長	坂本 光司	法政大学大学院	教授
神谷 義之	静岡県工業技術研究所沼津工業技術支援センター	センター長	佐々木道武	大成有楽不動産(株)浜松営業所	浜松営業所長
川原崎康雄	(株)マキヤ	代表取締役	佐藤 宗徳	(株)佐藤建設	取締役 管理部長
河西 幸一	明德建設(株)	代表取締役	佐藤 秀樹	(株)サトウ商会	代表取締役
菊地 広明	大東紡エステート(株)	取締役社長	佐藤三武朗	日本大学国際関係学部	学部長
菊地 豊	伊豆市	市長	佐藤 孝行	沼津魚市場(株)	代表取締役社長
杵島 栄二	(有)高商	代表取締役	佐藤 貢一	米久ベンディング	専務取締役
北岡 貴人	(株)暖香園	代表取締役社長	佐野 茂樹	青木建設(株)	代表取締役
北村 敏廣	静岡新聞社	代表取締役専務	佐野 正幸	(有)佐野新聞店	代表取締役
木戸 英壽	沼津商工会議所	専務理事	澤野 幸男	スルガカード(株)	代表取締役専務
木村美都子	木村美都子税理士事務所	税理士	塩坂 幸信	静岡県富士農林事務所	所長
木宮 健二	富士常葉大学	学長	塩崎 崇	(有)塩久商店	代表取締役社長
君澤 安生	(株)CF Sコーポレーション	取締役	篠原 寛	富士宮信用金庫	理事長
楠山 俊介	下田市	市長	柴田 昌彦	(一社)伊東観光協会	会長
栗原 裕康	沼津市	市長	斯波 幹和	(株)サン	代表取締役社長
黒崎 昇	三栄レギュレーター(株)	社長	清水 範巳	日本生命保険相互会社沼津支社	支社長
栗本 泰行	総合警備保障(株)沼津支社	支社長	庄司 清和	(株)時之栖	代表取締役会長
河野 貢	(株)かめや	代表取締役社長	杉山 洋	東京海上日動火災保険(株)静岡自動車営業部	沼津営業課長

会員名簿

氏名	会社名	役職
杉山 定久	南富士(株)	代表取締役
杉山 雄一	(株)杉山鉄工	代表取締役
杉浦 悌秀	(株)ユタカ	代表取締役
杉田 光秀	(株)静岡銀行沼津支店	執行役員沼津支店長
鈴木 幸彦	清水物産(株)	代表取締役社長
須沢 隆弘	(株)東広	代表取締役
鈴木 和宏	御殿場高原ビール(株)	代表取締役
鈴木 文三	サンコー防災(株)	代表取締役
鈴木 和江	観音温泉	代表取締役社長
鈴木 道也	南駿農業協同組合	代表理事組合長
鈴木 経康	沼津情報・ビジネス専門学校	校長
鈴木 雅春	静岡県賀茂地域政策局	局長
鈴木 尚	富士市	市長
須田 徳男	(株)MYコミュニケーションズ	代表取締役会長兼社長
須藤 秀忠	富士宮市	市長
諏訪部照久	(株)スワベ商会	代表取締役社長
諏訪部敏之	丸善工業(株)	会長
清 哲也	(株)大石組	代表取締役社長
関本 文彦	東海金属工業(株)	代表取締役会長
芹沢 和彦	東タイ(株)沼津工場	工場長
相馬 宏行	河津町	町長
高木 宏通	静岡県下田財務事務所	所長
高瀬 直樹	(株)伊豆新聞本社	代表取締役社長
高田 大輔	ニューデルタ工業(株)	代表取締役社長
田代 寿夫	(株)田代新聞センター	代表取締役
辰巳 充弘	沼津観光開発(株)	代表取締役
田中 伸幸	プラサヴェルデ	館長
田中 宏明	静岡県熱海土木事務所	所長
田村 治義	ニューウェルサンピア沼津	総支配人
千葉 慎二	(株)鈴木工務店	代表取締役社長
佃 弘巳	伊東市	市長
辻 明久	(有)メイク・エンタープライズ	代表取締役
土谷 直人	ニッセー防災(株)	代表取締役
土屋 龍太郎	土屋建設(株)	社長
土屋 順一	東海建設(株)	代表取締役
土屋 敏博	(株)東報	代表取締役社長
土屋 紀雄	(株)土屋建設	代表取締役
土屋 俊幸	(株)静岡銀行	常務執行役員東部カンパニー長
土屋 誠司	(株)富士和	代表取締役会長

氏名	会社名	役職
土屋雄二郎	雄大(株)	代表取締役
堤 親朗	(株)イブラシ	代表取締役
出向 永典	積水ハウス(株)沼津支店	支店長
土井 宣博	(株)雅心苑	代表取締役社長
土居 弘幸	岡山大学大学院	教授
轟木 裕史	(株)アルテクス	代表取締役
土村 暁文	静岡県東部地域政策局	次長
豊岡 武士	三島市	市長
永倉 聡	沼津通運倉庫(株)	代表取締役社長
長澤 一成	(株)耕文社	代表取締役社長
中島 達也	SMBCE日興証券(株)沼津支店	支店長
中嶋 三恵	(株)山六ひもの店	代表取締役
中村 仁	伊豆箱根鉄道(株)	代表取締役社長
中村 誠	島津急送(株)	代表取締役
永橋 克介	住友生命保険相互会社沼津支社	支社長
中西 芳弘	静岡県沼津財務事務所	所長
中山 勝	(一財)企業経営研究所	常務理事
西島 昭男	(株)シード	代表取締役社長
西島 洋司	(医)親和会西島病院	理事長
新田恭一郎	(株)ホテルサンバレー	代表取締役
丹羽 亨	(株)大丸松坂屋百貨店松坂屋静岡店	店長
野間由香利	アフラック沼津支社	支社長
野村 玲三	(株)野村商店	代表取締役社長
萩原 仁	(株)JTB 中部沼津支店	支店長
花房 孝光	(株)はなぶさ旅館	代表取締役
羽野 久雄	羽野水産(株)	代表取締役会長
服部徹一郎	(株)チキリ	代表取締役社長
林 和子	ハヤシ工業(株)	代表取締役
原 浩之	(学)原学園専門学校白寿医療学院	理事長
原 和也	静岡新聞社・静岡放送	取締役東部総局長
原口 茂	富士商事(株)	代表取締役
春田 和彦	西日本電信電話(株)沼津支店	支店長
一杉 真城	ヒトスギ塾	会長
日比野勇志	野村証券(株)沼津支店	支店長
兵藤 真一	MOAインターナショナル	広報担当
日向 秀二	(株)日弘商会	代表取締役
日吉 晴久	(株)テクノサイエンス	代表取締役
平井 克弘	スルガ銀行(株)	執行役員本店長
平野 忠幸	静岡県下田土木事務所	所長

氏名	会社名	役職
福島 和幸	静岡県賀茂健康福祉センター	所長
福山 重紀	(株)エイワンスポーツプラザ	代表取締役
藤井 武彦	西伊豆町	町長
藤浪 哲也	静岡県田子の浦港管理事務所	所長
古川 敏男	静岡県熱海財務事務所	所長
古郡 眞二	(有)マルニ茶業	代表取締役
堀田 大洋	沼津信用金庫	理事長
堀内光一郎	富士急行(株)	取締役社長
堀口 武彦	大同工業(株)	代表取締役
堀野 徹	静岡県富士土木事務所	所長
前田 松美	日本通運(株)静岡警送支店	支店長
増島 康行	静岡県沼津土木事務所	所長
松井 純	静岡新聞社・静岡放送	取締役会長
三浦 洋一	大和ハウス工業(株)沼津支店	支店長
三澤 清利	特種東海製紙(株)	代表取締役社長
水崎 充	ネットトヨタスルガ(株)	代表取締役社長
三津濱元一	富士通(株)沼津工場	工場長
宮下 功	米久(株)	代表取締役社長
宮本 修	(株)キクチ	代表取締役
宮尾 賢一	(株)損保ジャパン静岡支店沼津支社	支社長
峰田 武	(公財)佐野美術館	理事長
三輪 俊城	ホテル沼津キャッスル	代表取締役
村上 昇男	(株)落合楼村上	代表取締役
村田 潔春	(株)SBS プロモーション	代表取締役
村松 重治	静岡新聞社・静岡放送	取締役営業局長
村松 夏夫	静岡新聞社	取締役販売局長
村松 良道	静岡放送	ラジオ局長
室伏 勝宏	みしまプラザホテル	代表取締役
最川 治久	(株)モガワ	代表取締役会長
望月耕二郎	(学)旭学園	理事長・校長
望月 由郎	(株)SBS 情報システム	代表取締役社長
元村 秀樹	キリンビールマーケティング(株)	営業部長
森崎 祐治	静岡コンサルタント(株)	代表取締役
森田 金清	(一社)熱海市観光協会	代表理事
森 久人	(有)アラリシップビルダーズ	代表取締役
森 正憲	(株)安心堂沼津店	店長
森 一浩	ひばり税理士法人	代表社員
森 延彦	函南町	町長
森 貴志	静岡県東部地域政策局	局長

氏名	市町	役職
八重 英俊	日本興亜損害保険(株)静岡支店沼津支社	支社長
山内 倭子	(株)東興	代表取締役
山形 武弘	(一社)三島市観光協会	会長
矢田 利雄	沼津米穀卸(株)	代表取締役社長
矢田部正巳	三嶋大社	宮司
柳下 福藏	(独)国立高等専門学校機構沼津工業高等専門学校	校長
山下 郁夫	(株)三鮮商事	代表取締役
山本 浩義	(有)アスクラロ沼津	代表取締役
山本 弥之	(株)太洋社	代表取締役
山本 倫弘	税理士法人奈良橋・山本会計事務所	代表社員
山本 修	静岡県賀茂農林事務所	所長
山本 博保	清水町	町長
山本よしみ	オークラパックス(株)	代表取締役
山田 憲市	(株)コスモスクエアサービス	代表取締役
山田 壽次	三島函南農業協同組合	代表理事組合長
山田 司	静岡新聞社・静岡放送	東部総局長兼業務部長
山中 利之	(株)山中兵右衛門商店	代表取締役
横山 滋	サンワフーズ(株)	代表取締役専務
吉田 徹	富士通(株)静岡東部支店	支店長
若林 洋平	御殿場市	市長
和久田恵子	(株)ダイワ・エム・ティ	代表取締役社長
渡辺 国義	静岡県中小企業団体中央会東部事務所	所長
渡邊 昌信	(株)電業社機械製作所	相談役
渡辺 忠昭	三島商工会議所	専務理事
渡辺幸一郎	(株)三島新聞堂	代表取締役
渡邊 治彦	静岡新聞社・静岡放送	取締役社長室長
渡辺 光和	ネットトヨタ静岡(株)	代表取締役社長

幹事・委員

幹事 (50音順、敬称略)

氏名	会社名	役職	住所
遠藤 敏東	富士商工会議所	会頭	富士市
岡野 光喜	スルガ銀行(株)	代表取締役社長	沼津市
奥田 一	(株)静岡中央銀行	取締役社長	沼津市
北岡 貴人	(株)暖香園	代表取締役社長	伊東市
土屋 俊幸	(株)静岡銀行	常務執行役員東部カンパニー長	沼津市
宮下 功	米久(株)	代表取締役社長	沼津市
堀田 大洋	沼津信用金庫	理事長	沼津市
三澤 清利	特種東海製紙(株)	代表取締役社長	駿東郡
峰田 武	(公財) 佐野美術館	理事長	三島市
矢田部正巳	三嶋大社	宮司	三島市

運営委員 (50音順、敬称略)

氏名	会社名	役職	住所
井口 賢明	あさひ総合法律事務所	所長	沼津市
池田 誠	池田病院	院長	駿東郡
伊東 哲夫	伊東法律事務所	所長	沼津市
宇野 統彦	(株)桃中軒	代表取締役会長	沼津市
小野 徹	小野建設(株)	代表取締役	三島市
片山 劫	伊豆総合産業(株)	代表取締役社長	伊東市
勝又 規雄	ライオンファイル(株)	代表取締役社長	裾野市
諏訪部照久	(株)スワベ商会	代表取締役社長	駿東郡
土屋 紀雄	(株)土屋建設	代表取締役	下田市
西島 昭男	(株)シード	代表取締役社長	三島市
羽野 久雄	羽野水産(株)	代表取締役会長	沼津市
一杉 真城	ヒトスギ塾	会長	沼津市
室伏 勝宏	みしまプラザホテル	代表取締役	三島市

<地域政策局>

鈴木 雅春	静岡県賀茂地域政策局	局長
森 貴志	静岡県東部地域政策局	局長

<アドバイザー>

大坪 檀	静岡産業大学	総合研究所所長
坂本 光司	法政大学大学院	教授
土居 弘幸	岡山大学大学院	教授

<常任顧問>

篠原 光秋	静岡新聞社・静岡放送	取締役総務局長
谷川 治	静岡新聞社・静岡放送	取締役浜松総局長

< TESS 構成員 >

西島 昭男	(株)シード	委員長
井口 賢明	あさひ総合法律事務所	顧問
羽野 久雄	羽野水産(株)	顧問
宇野 統彦	(株)桃中軒	委員
小野 徹	小野建設(株)	委員
諏訪部照久	(株)スワベ商会	委員
青山 茂	(株)シード	研究員
大石 人士	(一財) 静岡経済研究所	研究員
中山 勝	(一財) 企業経営研究所	研究員
土村 暁文	静岡県東部地域政策局	研究員



2012年度を振り返って

サンフロント21懇話会 運営委員長
あさひ総合法律事務所 所長

井口 賢明

2012年度は自民・公明両党へ政権交代が行われたほか、消費税増税法の成立、尖閣、竹島の領有権問題、東日本大震災がもたらした原発問題、被災地の復興支援など、さまざまな出来事がありました。

県内でも新東名開通、伊豆半島の日本ジオパーク認定と明るいニュースの一方で、東日本大震災をめぐり、前年度に引き続き、命の大切さや家族、地域の「絆」の尊さをあらためて考えさせられた一年でもありました。

こうしたなか、サンフロント21懇話会は伊豆、東部、富士の3地区でジオパーク、ファルマバレープロジェクト、ニューツーリズムをテーマに、経済の活性化、医療産業へのものづくりの転換、地域資源の見直しなどを訴え、将来を展望しました。

また、静岡経済同友会東部協議会の呼び掛けに応じ、地元商工会議所、商工会などと連携し、2年間取り組んだ県東部10市町(沼津、三島、御殿場、裾野、伊豆の国、伊豆市、小山、長泉、清水、函南町)を対象としたランドデザインの策定支援にかかわりました。各自治体が個性を発揮しながら、緩やかなネットワークを形成する都市連合が県東部の発展につながるの考えは、サンフロント21懇話会設立の原点です。

2013年度は私たちの提言を機に実現した大型展示イベント施設「キラメッセぬまづ」が6月29日、県東部地域コンベンションセンター「プラサヴェルデ」(沼津市)にリニューアル・オープンします。

地域の活性化には時代の変化を的確にとらえ、知恵と工夫が欠かせません。会員皆様方のさらなるご支援、ご協力を重ねてお願いする次第です。



サンフロント
懇話会 21

<http://www.sunfront21.org/>

■ 発行 / 2013年 5月30日

〒410-8560 沼津市魚町1番地サンフロント5F 静岡新聞社・静岡放送東部総局内 サンフロント21懇話会事務局 TEL.055-962-6520